

事業所名

キッズスタジオ オリーブの木ST.3

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

7月

1日

法人（事業所）理念	みんなが「笑顔」になれる場所。「あそぶ」ように「まなび」できない時は「一緒に」ゆっくり。一步一步進んでいきましょう。		
支援方針	笑顔が溢れる場所。一人ひとりに寄り添います。学習支援をはじめ、アート療育・食育・運動療育・自然体験療育・キャリア療育を通じて、子どもたちの能力やスキルを育成する「総合療育」です。		
営業時間	①平日 ②土・祝・長期休暇	①13時 ②9時	①19時 ②18時
	0分から	0分まで	送迎実施の有無
			あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	手洗い、荷物の整理・管理、体温調整(衣服)、水分補給、トイレトレーニングなど生活面で必要なスキルが身につくように視覚支援を入れながら慣れるまで支援員と一緒に行う。ルーティーンを作り、自分の力で取り組めるようにする。 食育としてフードコーディネーター1級の資格を持つ専門講師がクッキングを計画し行い、必要な栄養素が摂取できるように工夫する。専門医と連携を図り、分子栄養学を意識したレシピ、おやつも提供する。	
	運動・感覚	体幹トレーニング 姿勢に関する機能、重心に関する機能、四肢を巧みに使う感覚機能を高めるように専門講師がサーキット遊びを考え行います。音楽に合わせてダンスや段階に応じてミュージカル「演技」「セリフ」など身体表現につながるプログラムも行います。外部講師(理学療法士)にインソールを作成(希望者のみ)してもらい、身体の軸を整えて行きます。様々な動作をするために体をどのように使ったらよいか個別でアプローチしながら疲れにくい体作りを目指します。登山、ウォーキング、スポーツ大会などイベントを行い身体を動かすことの楽しさを取り、基礎体力の向上、生きる力、自己肯定感を育みます。ピアノを使った療育を個別で行う。指のトレーニングだけでなく様々な感覚機能に刺激を与え脳の発育に役立てます。	
	認知・行動	ソーシャルスキルトレーニングを行います。テキスト、映像などを活用し視覚的支援を行いながら場面設定し、場面に応じた対応をグループ討論をして考える、学ぶ場を提供します。学んだことを意識して実践できるように共同遊びを行います。様々な行動を試し、達成感のある活動を提供。活動に入る前に児童に対してスケジュールの確認として、日付・時間等を質問し、数の概念の習慣を図る。色分けされた玩具、教材、ブロック等を使って、数と空間の習得を促します。音楽療法を通して、聴覚を活用する発達を促す。	
	言語コミュニケーション	共同遊びや様々なイベント活動の中に、参加児童と目標決め、ルール設定、役割・担当決めなどを話し合いの場を設ける。自分の意見、気持ちを伝えたり、言語化に困り感のある児童は指差し、選択できるように絵カードを活用して合理的配慮を行います。言葉でのやり取りを大切に、支援者が近くで見守り、必要に応じて仲介し円滑なコミュニケーションを習得できるようにサポートする。SSTなども行う。また1日のプログラムの中に学習支援を行い、個々の課題、困り感を分析し、躓きをクリアできるように専門の講師を配置します。脳トレーニングでは眼球トレーニング、短文の音読など取り入れ、読み書きの抵抗感を緩和させる。読み聞かせを行い、物語について考え感想を述べたり、文字から想像する力、聞く力、国語力を育みます。	
	人間関係社会性	支援員が介入しながら集団参加を支援します。SSTを通じて、対人関係の発達を支援する。楽しめる遊び、プログラムにより人間関係の発達を促す。公共施設、公共交通機関などでのマナーを学ぶ機会も設け社会性を身につけます。地域交流の場も設けていく。主な活動「音楽発表会」「クッキング」「農業体験」「ワンデイダイニング」「こども食堂」「キャンプ」等。	
家族支援	活動で経験したことや出来事を家庭でもフィードバックできるようにお子様の様子、活動内容を伝えます。写真や動画を添え、視覚的に伝え、本児の取り組む姿、表情などが本児だけでなく保護者にも伝わり、ご家庭で振り返りができるようにします。	移行支援	日常的な連携に加え、行事等の際には、説明の方法や促し方、関わりについて共有を図る。必要に応じて関係機関と連携を図れるように事業所での様子、これまでの成長過程をまとめていつでも提示できるようにする。
地域支援・地域連携	関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常生活や支援に活用するための具体策を提案する。連携会議、担当者会議などがあれば出席し、情報提供し、具体的な場面での本児との関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行う。	職員の質の向上	新入職員研修、スキルアップ研修、法定研修、防災に関する研修、虐待防止委員研修、感染症対策研修、身体拘束に関する研修、ケース会議、検討会議、月1回職員全体会議、外部講師(専門医、音楽療法士、理学療法士、救急救命士等)によるセミナー。
主な行事等	アウトドア活動(魚釣り、船釣り体験、登山、ウォーキング、オーガニック農業体験、デイキャンプ等)、社会見学、アート、クッキング、職業体験、音楽発表会 等		